

● はじめに

IELTS（アイエルツ）はInternational English Language Testing Systemの略で、1989年に誕生した英語4技能試験です。誕生以来、ケンブリッジ大学英語検定機構（1913年設立のケンブリッジ大学に属する非営利組織）、ブリティッシュ・カウンシル（イギリス政府により文化交流を目的に1934年に設立された公的機関）、IDP Education（1969年のオーストラリア政府によるAustralian Asian Universities Cooperation Schemeを前身とする、現在はメルボルンに本社を構える営利企業）の3団体で運営しています。

現在は、受験者数も急激に伸びており、2019年度はついに世界全体で受験者は350万人を突破し、これは同じく4技能試験として世界的スタンダードであるTOEFLを大きく上回っています。また、IELTSは開始よりずっとリスニング、リーディング、ライティングの3セクションがペーパー受験、スピーキングが試験官との面接という方式を取ってきましたが、近年そこにコンピューターによる受験方式のCDI（正式名のComputer-delivered IELTSを略し、CDIと通常呼ばれるため、このコースブックでもこれ以降CDIと表記）が追加（日本では2019年度より開始）され、ペーパー受験かコンピューター受験かを受験者が選べるようになりました。

CDIの場合はスピーキング以外の部分を試験会場に設置されたコンピューターで受験しますが、問題内容自体は全くペーパーの場合と変わりません。また、スピーキングに関しても、「人間によるスピーキング能力の測定」がIELTSの最大の特長の1つであるため、ペーパー受験の際と全く手順は変わりません。どちらの形式で受験しても同じ試験ですので、受験費用やスコアには全く差はなく、最終的に手元に届く結果票（スコアレポート）にも受験形式の記載はありません。スコアレポートにおける唯一の差は、ペーパー受験の場合は手元に届くのに2週間程（事前スコアオンライン開示も約10日）かかるのに対し、CDIの場合だと1週間程度（事前スコアオンライン開示も約5日）しかかからないことです。

本書は、IELTS対策のコースブックとして、ペーパー受験とCDI受験の両者に対応できる構成となっています。1回の授業は100分前後を想定していますが、学生のレベルとしては5.5前後（B2レベル）を目指すグループを最低ラインとして、ペーパー受験とコンピューター受験の両方に対応できる内容です。

IELTSの概要を説明するIntroductionから入り、その後12のUnitで構成されます。全Unitを通して、Reading / Listening / Writing / Speakingのスキル順に進み、各スキルにExercise AとExercise Bがあります。学習者のレベルに合わせて、1回の授業で各スキルExercise Aのみ、2回目の授業でExercise Bをカバーしてもよいと思いますし、また、学習者のレベルが高い場合は問題部分の解く数を時間に応じて調整しながら、両Exerciseを1回の授業でカバーしてもよいと思います。

本書を通じて、学習者の皆さんが自信を持ってIELTS受験にのぞみ、目標スコアを達成されることを願っています。

Table of Contents

Introduction	6
--------------------	---

Unit 1

READING	〈Passage 1〉 A Blooming Problem	12
LISTENING	Listening 問題形式 Sample Listening Test 〈Part 1〉	16
WRITING	Sample Writing Test 〈Task 1〉 問題形式 Bar graph	18
SPEAKING	Sample Speaking Test 〈Part 1~3〉 (試験概要)	20

Unit 2

READING	Reading 問題形式	22
LISTENING	Sample Listening Test 〈Part 1〉	24
WRITING	Sample Writing Test 〈Task 1〉 Table	25
SPEAKING	必須文法① 関係代名詞	26
	Sample Speaking Test 〈Part 1〉	

Unit 3

READING	Sample Reading Test 〈Passage 1〉 Gap-filling	29
LISTENING	Sample Listening Test 〈Part 1〉 ディストラクター	30
WRITING	Sample Writing Test 〈Task 1〉 Line	34
SPEAKING	必須文法② 関係副詞 Sample Speaking Test 〈Part 1〉	35

Unit 4

READING	Sample Reading Test 〈Passage 1〉 Matching	37
LISTENING	Sample Listening Test 〈Part 2〉	38
WRITING	Sample Writing Test 〈Task 1〉 Line	40
SPEAKING	必須文法③ 受動態 Sample Speaking Test 〈Part 1〉	41

Unit 5

READING	Sample Reading Test 〈Passage 1〉 Multiple choice	44
LISTENING	Sample Listening Test 〈Part 3〉	45
WRITING	Sample Writing Test 〈Task 1〉 Line	47
SPEAKING	必須文法④ 分詞構文 Sample Speaking Test 〈Part 2〉	48

Unit 6

READING	Sample Reading Test 〈Passage 1〉 Heading	51
LISTENING	Sample Listening Test 〈Part 3〉	52
WRITING	Sample Writing Test 〈Task 1〉 Line	53

SPEAKING

必須文法⑤ 現在完了&過去完了 Sample Speaking Test 〈Part 2〉 ... 54

Unit 7**READING**

〈Passage 2〉 **Cracking the Code** 57

LISTENING

Sample Listening Test 〈Part 4〉 60

WRITING

Sample Writing Test 〈Task 2〉 62

SPEAKING

必須文法⑥ **コンディショナル・センテンス (仮定法)** 63

Sample Speaking Test 〈Part 2〉

Unit 8**READING**

Sample Reading Test 〈Passage 2〉 66

LISTENING

Sample Listening Test 〈Part 4〉 67

WRITING

Sample Writing Test 〈Task 2〉 69

SPEAKING

Sample Speaking Test 〈Part 3〉 71

Unit 9**READING**

Sample Reading Test 〈Passage 2〉 **Gap-filling** 72

LISTENING

Sample Listening Test 〈Part 1〉 73

WRITING

Sample Writing Test 〈Task 2〉 74

SPEAKING

Sample Speaking Test 〈Part 3〉 75

Unit 10**READING**

Sample Reading Test 〈Passage 2〉 **Matching** 76

LISTENING

Sample Listening Test 〈Part 2〉 77

WRITING

Sample Writing Test 〈Task 2〉 79

SPEAKING

Sample Speaking Test 〈Part 3〉 80

Unit 11**READING**

Sample Reading Test 〈Passage 2〉 **Multiple choice** 81

LISTENING

Sample Listening Test 〈Part 3〉 82

WRITING

Sample Writing Test 〈Task 2〉 84

SPEAKING

Sample Speaking Test 〈Part 1〉 / 〈Part 2〉 85

Unit 12**READING**

Sample Reading Test 〈Passage 2〉 **Heading** 86

LISTENING

Sample Listening Test 〈Part 4〉 87

WRITING

Sample Writing Test 〈Task 2〉 88

SPEAKING

Sample Speaking Test 〈Part 3〉 89

Introduction

■ IELTS概要

IELTSは当初、英語圏（主にオーストラリア・ニュージーランド、イギリスを始めとする英連邦）の大学が英語を母語としない留学希望の学生の入学審査に用いることを目的とした、アカデミック・モジュールというタイプのテストとして始まり、受験者は現在より遥かに少ないものでした。開発から約30年を経た現在、IELTSの応用性、受験者数は大きな拡大を遂げています。

まずテストタイプであるモジュールには、ジェネラル・モジュールがアカデミック・モジュールに加え登場しました。これはイギリスやカナダ、オーストラリアなど、先ほどと同じく英連邦に属する英語を第一言語とする国への移住の際に申し込み希望者の審査条件として用いられます。

（※日本でのジェネラル・モジュール受験者が非常に少ないため、本書ではアカデミック・モジュールのみを想定しています。）

また、IELTSアカデミック・モジュールも、入学審査として受け付けている大学数が年々世界中で大きく拡大し、今ではイギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、アイルランドの全ての大学で受け入れられているのに加え、アメリカの4年制大学も、1,000名以上の留学生を受け入れている大学であれば、99%以上（3,000校以上）がIELTSを受け付けています。さらには英語圏のみならず、ヨーロッパやアジアの大学でも（英語で実施されるコースを対象に）入学審査に採用されており、ヨーロッパでは2,000校以上で受験時にIELTSが使われています。

■ IELTSのスコアについて

IELTSは、Reading / Listening / Writing / Speakingの4つのセクションから成り立つテストで、それぞれのセクションについて、0～9.0の間で0.5点刻みでスコアが算出され、成績証明書には4セクションそれぞれのスコアが記されます。

受験者の最終的なスコアは4セクションの平均となり、それをIELTSではオーバーオールスコア（以下OA）と呼んでいます。計算は切り上げ式ですので、例えばReading 5.0 / Listening 5.5 / Writing 5.0 / Speaking 5.5という評価だった場合、 $(5 + 5.5 + 5 + 5.5) / 4 = 5.25$ となり、5.0と5.5に等しく近い数字となりますが、小数点以下を切り上げてOA5.5という結果になります。

なお、各セクションの最終スコアやOAスコアは、切り上げ式で算出されますが、SpeakingとWritingのセクション内の細かい採点基準についてはスコアの端数が切り下げ式で合算されるので、スコアの計算はやや複雑になります。

IELTSのOAスコアの難度について、参考までにCEFRや他の資格・検定試験とのおおよその比較を次に示します。

CEFR ならびに各種資格・検定試験のスコア対照表

CEFR	IELTS	英検	TOEIC® LR	TOEIC® SW	TOEFL® IBT
C2	8.5-9.0				115-120
C1	7.0-8.0	1 級	945	360	94-114
B2	5.5-6.5	準 1 級	785-940	310-350	46-93
B1	4.0-5.0	2 級	550-780	240-300	32-45
A2	3.0	準 2 級	225-545	160-230	-31
A1	2.0	3 級~5 級	120-220	80-150	

(TOEIC®・TOEFL®等の公開データに基づき編集)

■ IELTS各セクション概要

READING

IELTS では長文（パッセージ）問題が3つ（Passage 1 / Passage 2 / Passage 3）出題されます。それぞれの長文から13または14問出題され、計40問を1時間で解きます。

題材は様々で、Business（経営学）/ Economics（経済学）/ Engineering（工学）/ Geography（地理学）/ History（歴史）/ Philosophy（哲学）/ Sociology（社会学）などの分野からの出題となります。実際のパッセージの英語の難易度や長さは本編（Unit 1以降）に入ってからご確認ください。

それら40問の正答率に応じて、下記の表のように0～9.0の間で0.5点刻みでスコアは算出されます。ただし、ペーパーの難易度により正答数とスコアは若干の調整が入る場合がありますので、以下はあくまでも目安となり、この正答数イコール必ずこのスコア、ということにはなりません。

IELTS Academic Reading marking schemes

Band Score	9	8.5	8	7.5	7	6.5	6	5.5	5	4.5	4	3.5	3	2.5
Score / 40	39-40	37-38	35-36	33-34	30-32	27-29	23-26	19-22	15-18	13-14	10-12	8-9	6-7	4-5

LISTENING

IELTS のリスニングは4パートで構成されており、それぞれのパートから10問、計40問出題されます。時間は毎回完全に一緒ではありませんが、大体音源自体は約30分です。ペーパー受験の場合はCDIの場合と異なり、最後に10分間解答用紙に答えを記入する転記時間が設けられているため、全体の所要時間は少し長くなり、40分程度です。

Reading セクションと同じく、実際の問題の難易度、構成、見た目などは本編で確認して頂きますが、下記が各パートの典型的な冒頭デザインです。

LISTENING

PART 1 Questions 1-10

Questions 1-6

Complete the form below.

Write **NO MORE THAN THREE WORDS AND/OR A NUMBER** for each answer.

Refund Request Form

Passenger Full Name: **1** _____

Booking Reference number: **2** _____

Airline: Virgin Australia

Date of Departure: **3** _____

Place of Departure: Aberdeen

Destination: Adelaide

Status of Flight: **4** _____

PART 2 Questions 11-20

Questions 11-14

Answer the questions below.

Write **NO MORE THAN THREE WORDS AND/OR A NUMBER** for each answer.

11 Besides the size of the business park, what else is special about it?

12 How many people live within half an hour of the business park?

13 How many bus routes are there to the business park?

PART 3 Questions 21-30

Answer the questions below.

Write **NO MORE THAN THREE WORDS AND/OR A NUMBER** for each answer.

21 Which country was the study that the woman received by email from?

22 The children in this study were from different _____ systems.

23 What was the total number of children in this study?

24 At first, which group outperformed the other group?

The _____ group

25 What does the woman think is missing from this study?

26 What was the problem with the link?

PART 4 Questions 31-40

Questions 31-35

Select the best answer for each question.

31 Heritability is concerned with

- A how the environment affects us
- B what is similar between us
- C what is different between us
- D what is both similar and different between us

32 Which is an example of a heritable characteristic?

- A having a stomach to digest food
- B having green eyes
- C Neither A nor B
- D Both A and B

スコアの計算方法も Reading と非常に似通っており、下記の表が目安となります (Reading と同じく、ペーパー難易度に応じて実際のスコアは若干調整される場合があります)。

IELTS Listening marking schemes

Band Score	9	8.5	8	7.5	7	6.5	6	5.5	5	4.5	4	3.5	3	2.5
Score / 40	39-40	37-38	35-36	32-34	30-31	26-29	23-25	18-22	16-17	13-15	10-12	8-10	6-7	4-5

WRITING

IELTSのライティングセクションは、Task 1とTask 2の2問出題されます。Task 1の問題形式は大きく分ければ3つのタイプ（データをまとめる形式・地図についてまとめる形式・工程/サイクルを説明する形式）がありますが、どの形式で出題されても、視覚的に提示されている情報を最低150ワード以上で、目安としては20分以内でまとめる、というのは毎回共通です。

Task 2の方で要求される最低の字数は250ワードで、かつTask 2の方は内容も自分の意見を論じるよう求められるエッセイの形になるので、より難しいパートになります。それを踏まえて目安の「かけていい時間」もTask 1の倍の40分となっています。

IELTSのライティングはGrammar（文法）、Task Achievement / Task Response（問題の答えになっているか）、Lexical Resource（単語）、Coherence and Cohesion（読み易い形で書いてあるか）の4項目で判断されます。それら項目のより詳しい意味は本編で触れます。

各項目を別々に採点し、それらの4つのスコアの平均がそのTaskのスコアとなります。このWritingの各採点項目のスコアを付ける際は0.5刻みでなく、1.0刻みです。例えばGrammar 4、Task Achievement 4、Lexical resource 4、Coherence and Cohesion 5という採点だった場合、そのTask 1は $(4 + 4 + 4 + 5) / 4$ で4.25となります。ここは端数が切り下げ式となるので、4.0という結果になります。

最後に、スコアに関して重要なのは、Writingの最終スコアを算出する際、Task 2はTask 1の倍のウェイトがあります。よって例えばTask 1が5.0、Task 2が5.5という場合はその人のWritingの最終スコアは5.5となる可能性が高くなります。成績証明書にはそのセクションの最終スコアのみが出ますので、各Taskの点数、またその内訳などは一切わかりません。

SPEAKING

スピーキングはIELTSの最も特徴的な部分で、IELTSの他の3つのセクションと比べても形式がかなり異なっているセクションです。まずはペーパー受験であればWriting、Reading、Listeningの順で、CDIの場合であればListening、Reading、Writingの順に集団で（他受験者と共に）受験する一方、Speakingだけは面談形式にて、個別受験となります。個別受験となるため、開始時刻も受験者毎に異なり、他の3つのセクションの前に面談となる受験者も、他の3つのセクションの後（場合によっては翌日）に面談となる受験者も出てきます。

試験自体は名前などの簡単なID確認（受験者持参のパスポートと本人が同一人物であるかの確認など）から始まり、この部分は30秒もかかりません。その後は、Part 1（自分の故郷や趣味などジェネラルな質問があるパート）、Part 2（スピーチのパート）、Part 3（質疑応答のパート）の3つのパートで構成されます。

各パート4分前後ですので、全体でかかる時間は11分から長くても20分程度と、他のセクションと比べ圧倒的に短いセクションです。IELTSは必ず人間の試験官と1対1の面談になり、これはCDI受験でも変わりません。試験官はネイティブスピーカーが担当し、このスピーキングが人間相手（採点も100%人間の判断）というのがIELTSの最大の売りかつ特徴の1つとなります。

採点項目はWritingと少し似通っており、Grammatical Range and Accuracy（文法）、Pronunciation（発音）、Lexical Resource（単語）、Fluency and Coherence（流暢さと理解し易さ）の4項目で判断されます。

Writingと同じく各項目を別々に採点し、それらの4つのスコアの平均がその受験者のスコアとなります（先ほどのWritingと同じく、Speakingでも各評価項目のスコアを付ける際は0.5刻みでなく1.0刻みで、端数は切り下げ式です）。例えばGrammatical Range and Accuracy 5、Pronunciation 5、Lexical Resource 6、Fluency and Coherence 5という採点だった場合、その受験者のスコアは $(5 + 5 + 6 + 5) / 4 = 5.25$ なので、スコア5.0となります。

READING

Exercise A Sample Reading Test <Passage 1>

下記が最初のリーディング問題のサンプルです。長さ・難易度共に典型的なIELTSのReading Passage 1と同様になっています。まずは15分間で全体を読んでみてください。

試験本番では下記の分量を読むだけでなく、解くところまで含めて20分程で終える必要があることを考慮すると、大体15分が読む作業自体にかけられる限界です。その限界時間の中で、自分の読む速さであればどの位の分量が読めるのかを把握するのは大切な最初の作業ですので、まずは15分を意識して読みます。全部読み切れなくても構いません。

※赤字になっている部分は**Exercise B**で用います。**Exercise A**では気にする必要はありません。

READING PASSAGE 1

Spend no more than 20 minutes on Questions 1-14, which are based on Reading Passage 1 below.

A Blooming Problem**[A]**

From the frigid waters of the North Atlantic to the balmy beaches of Gold Coast in Queensland, Australia, gigantic aggregations of jellyfish known as blooms have created a **crisis** on a global scale. Water-based industries such as power plants, desalination plants, fish farms, commercial fishing, and tourism have suffered increasing losses from the proliferation of jellyfish species. Several factors have been attributed to the **phenomenon** of these blooms.

**[B]**

Increases in ocean temperatures has created more favourable conditions for the eggs of jellyfish as they naturally prefer warmer water. Additionally, a continuing increase of man-made coastal and offshore structures such as piers, petroleum drilling platforms, and offshore wind turbines have created a suitable **habitat** for

jellyfish eggs to develop. In the reproductive cycle of jellyfish, after the fertilised egg has hatched, the resulting larvae must find a hard surface to attach itself and grow into the polyp stage. Professor Uye, a jellyfish biologist at Hiroshima University in Japan observed that the number of baby jellyfish present in a dockless port stayed constant year over year. But in the year after a dock was installed the number of baby jellyfish increased from 5.7 million to more than 25 million. Hard man-made structures make a perfect habitat for these polyps because they offer plentiful space to settle, **shade** from the sun, and few **predators** compared to their natural habitats.

[C]

Moreover, overfishing of the jellyfish's natural predators such as blue fin tuna and sharks along with their competitors such as sardines, herring, and anchovies have created a **niche** that allows jellyfish to **dominate** their environment. In a 2006 report, it was estimated that the total biomass of fish in the ocean was at 3.9 million tonnes, while the total jellyfish biomass was around 13 million tonnes and it is estimated that this imbalance has only become more **extreme** in the last few years.

[D]

With the unhindered growth of jellyfish blooms, several power plants over the years have been temporarily incapacitated by massive accumulations of these creatures. In 2011, both reactors at the Torness **nuclear** power plant in Scotland were shut down after an **invasion** of jellyfish started blocking the cooling filters. A few years later, the Oskarshamn nuclear plant in Sweden was shut down after the pipes that transport water to cool the turbines were clogged by tonnes of jellyfish. The same fate even befell the US Navy's nuclear-powered aircraft carrier USS Ronald Reagan.

[E]

The blooms also make beaches less **attractive** to visitors which could put a dent in the tourist **industry** of sea-side areas, if left unchecked. In the past, it was often stated that the vast majority of jellyfish stings were relatively **harmless**, causing the **victims** some minor pain. However, there are many species whose stings could be fatal. In fact, worldwide more people die of jellyfish stings than shark attacks. The growth of these more lethal species is exemplified by the recent discovery of several hitherto unknown species of *Irukandji* jellyfish. Angel Yanagihara, a biochemist at the University of Hawaii who studies jellyfish venom

reported that stings by certain species of jellyfish, including *Irukandji* species, have caused **fatalities** in the Indo-Pacific region. In the Philippines, an estimated 100 to 500 people, most of whom are residents of isolated fishing villages, die of jellyfish stings annually, according to research conducted by Yanagihara. During a six-week period of Australia's 2018-2019 summer season, authorities in Queensland were forced to close 18 beaches because of a jellyfish invasion which **resulted in** thousands of swimmers being stung. In a one-week period alone, an astonishing 13,000 stings were reported. Lisa-ann Gershwin, a government scientist and director of the Australian Marine Stinger Advisory Service suggested that tourism-dependent businesses are likely to incur serious financial setbacks as holidaymakers become **reluctant** to patronise beaches infested by jellyfish. The possible damage to Queensland's \$8.6 billion tourist industry is something the local authorities have to seriously consider and find ways to deal with.

[F]

As of yet, no widespread **solution** has been **implemented**, but several suggestions have been made ranging from the somewhat practical to the downright outlandish. Jellyfish could be developed and marketed as a food source. Jellyfish are eaten in several Asian countries, most notably China; however very few species are considered as good **candidates** for food sources. While a few species are edible, it is difficult to make these other species of jellyfish palatable. In cultures that do not have a tradition of eating jellyfish, such as Europe and North America, improvements in taste and texture would be needed to make jellyfish attractive to western consumers. Additionally, since jellyfish are 95% water, gathering jellyfish is not as lucrative as fishing, so there is little **incentive** to make the switch to jellyfish.

[G]

Another solution seems like it could have been **inspired** by a science fiction film. A team of South Korean scientists have designed an aquatic robot to thin the numbers of jellyfish in the ocean. Known as JEROS (Jellyfish Elimination Robotic Swarm), they utilise GPS and a camera system along with a special algorithm to identify and locate blooms of jellyfish. Able to **eliminate** 400 kilograms of jellyfish in an hour, the JEROS system is touted by its creators to be three times more cost **effective** than manual methods of removal. In theory, groups of three or four JEROS would search for jellyfish, **capture** them in nets and eventually send them in to a chamber inside the JEROS where razor sharp propellers would pulverise the masses of jellyfish. While this method would eliminate the present threat of

adult jellyfish, this device would not affect the eggs or polyps that would continue to grow into adult blooms.

Exercise B Sample Reading Test (Passage 1) 必須単語

赤字の単語・フレーズの意味を確認しましょう。この赤字でマークされている単語・フレーズは知らなくてはならない必須単語です。

LISTENING

Exercise A Sample Listening Test 〈Part 1〉

IELTS Listening の問題形式は (a) Multiple choice (b) Matching (c) Map (d) Gap-filling の4タイプです。Reading セクションと同じく、ひと通り確認したら、次ページの **PART 1** の問題部分とそれに対応する音声で文字になったもの (Script) の赤字部分の意味を確認してください。

Listening 問題形式

(a) Multiple choice

マルチプル・チョイスは一般的な選択問題と変わりません。IELTS の場合は大抵3択ないし4択で、音声で聞いた情報に合っている選択肢を選びます。形式は聞けば簡単ですが、実はIELTS では一番難しいセクションだったりします。恐らくネイティブが受けてリスニングで満点ができないとすればこのセクションが原因である可能性が一番高いと思います。その詳しい理由や対策などは後々のUnitに記載していきます。

(b) Matching

マッチング問題は、選択肢がいくつかまず提示されており (例えば人物名が3つ、Aさん、Bさん、Cさんといった形)、その下に問題として様々なシチュエーションが提示されています。それを、音声を聞きながら、例えばクエスチョン1のシチュエーションなら担当は人物A、クエスチョン2のシチュエーションなら人物B、クエスチョン3のシチュエーションなら担当は人物3、というように合うもの (マッチするもの) を選んでいく形式です。

(c) Map

残る形式が地図で、これは苦手な人は大嫌いなセクションですので、好みが分かります。簡単な地図が提示され、音声で紹介されている施設が、地図内のどの施設なのか、記号を答えていきます。

(d) Gap-filling

ギャップ・フィリングは、Part 1 と最終のPart 4 に来ることが多いです。音声から流れてくる情報を元に空欄補充をしていきます。典型的なパターンは所々空欄のある申込用紙などが問題として提示されていて、申込者と申込先のスタッフが話している内容を聞きながら空欄部分 (例えばその申込者の名前、電話番号、希望など) を埋めていきます。

重要ポイント

リスニングは基本的に音声の順序通りの出題になっています。例えば、**Q2** の解答になる部分の音声がきた後に、**Q1** の答えになる部分が読み上げられるなどといったことは通常ありません。

PART 1

01

Questions 1-4*Complete the notes below.*Write **NO MORE THAN THREE WORDS AND/OR A NUMBER** for each answer.

City 1: (1) – good place for surfing
 Beaches have (2) facilities
 Options for hotels are (3)
 Popular destination among (4)

PART 1 [Script 01]

01

Okay, so here are some of the best **hidden** places that, probably, only the **local** people know. **First off**, if you like surfing, you have to visit BELLS BEACH. That's BE LLS beach. The facilities there are **pretty** old, and the hotel choice is **quite limited**. But, **still**, it's a very popular destination among marine sports **enthusiasts** from **all over the world**.

Exercise B Sample Listening Test (Part 1) 実践

この **Exercise** では、まずは実際に上記のスキriptを音声として聞きながら、**Gap-filling** の形式である **Q1-4** を解いてみましょう。他の形式は後の **Unit** でそれぞれ触れていきます。

PART 1

01

Questions 1-4*Complete the notes below.*Write **NO MORE THAN THREE WORDS AND/OR A NUMBER** for each answer.

City 1: (1) – good place for surfing
 Beaches have (2) facilities
 Options for hotels are (3)
 Popular destination among (4)

WRITING

Exercise A Sample Writing Test 〈Task 1〉 問題形式

Introduction (p. 6～) で述べた通り、**IELTS Writing**の問題形式は大きくは〈Task 1〉と〈Task 2〉に分けられます。より細かく〈Task 1〉の形式をみると、(a) graph (b) table (c) Two or more charts (d) Maps / Plans (e) Flow chart (f) Device に分類できます。それぞれの下記説明を読んだら、この**Exercise**の最終部分にあるSample Writing Test 〈Task 1〉が何を示しているグラフなのか、またそれに対応し英語は何の時制にすべきか、そして最後に赤字の問題部分の意味を確認しましょう。

Writing 〈Task 1〉 問題形式

(a) Graph

この形式にはline graph (折れ線グラフ)、pie chart (パイチャート)、bar graph (棒グラフ)があります。時間軸としては、過去、現在、未来、全てが登場し得ますが、過去だけが提示されたものが典型的です。

(b) Table

この形式は5から10程の項目がまとめられた表となります。それ以上に項目数が多いことは非常にまれです。先ほどと同じく、時間設定としては過去・現在・未来、どの設定のデータもあり得ます。

(c) Two or more charts:

この形式になると、上記の(a)と(b)のコンビネーションとなります。ただ基本的に同時に提示されるのは2種類までですので、line graph、pie chart、bar graphのいずれかとtableといったものが典型的です。またそれら複数の図はお互い関連性がある時もあれば、全くない時もあります。もし前者の場合であれば関連性を答えにも明記することが望ましいですが、後者の場合でしたら別々のパラグラフ (段落) にそれぞれの図について記すだけで構いません。

(d) Maps / Plans

ある街や施設の現在の地図と、工事・開発後の同場所の地図が提示されている場合が典型例です。稀に地図が1つだけ提示されている場合もあります。いずれの場合でも、地図内の情報・変化をまとめることが求められます。

(e) Flow chart

手順表として、何かの工程が示されている形式になります。製品の製造工程を図解したものが典型例で、手順は必ず矢印や番号を使って明確に順序が分かる形で書かれます。

(f) Device

最後のこの形式は、何かの装置がどの様に機能するかを図解したのになります。何かしらの機械的装置の作動方法を図で示しているのが典型例となります。

重要ポイント

前記 (a) ~ (f) の問題形式は、出題頻度もおおよそ (a) ~ (f) の順の通りで、(a) が最も典型的な形式です。

Sample Writing Test <Task 1>

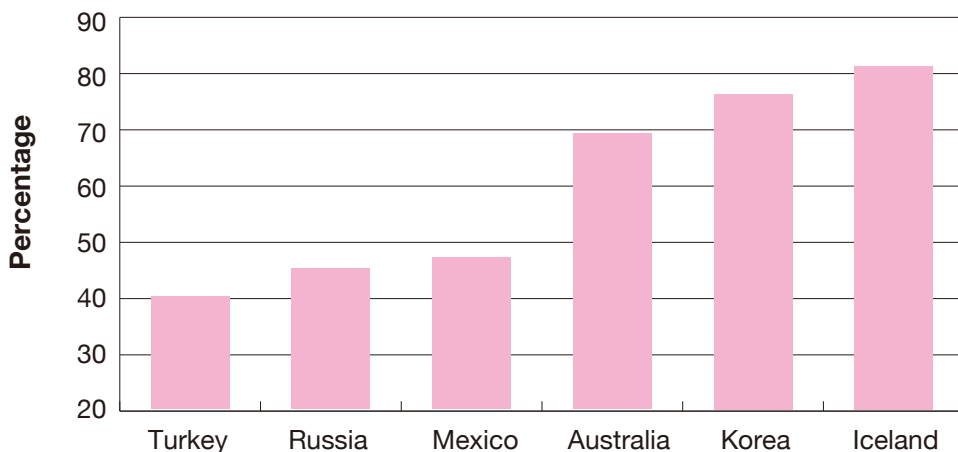
You should spend about 20 minutes on this task.

The chart below shows frequent computer usage by high school students in six countries in 2003.

Summarise the information by selecting and reporting the main features, and make comparisons where relevant.

Write at least 150 words.

Usage of computers by high school students (2003)

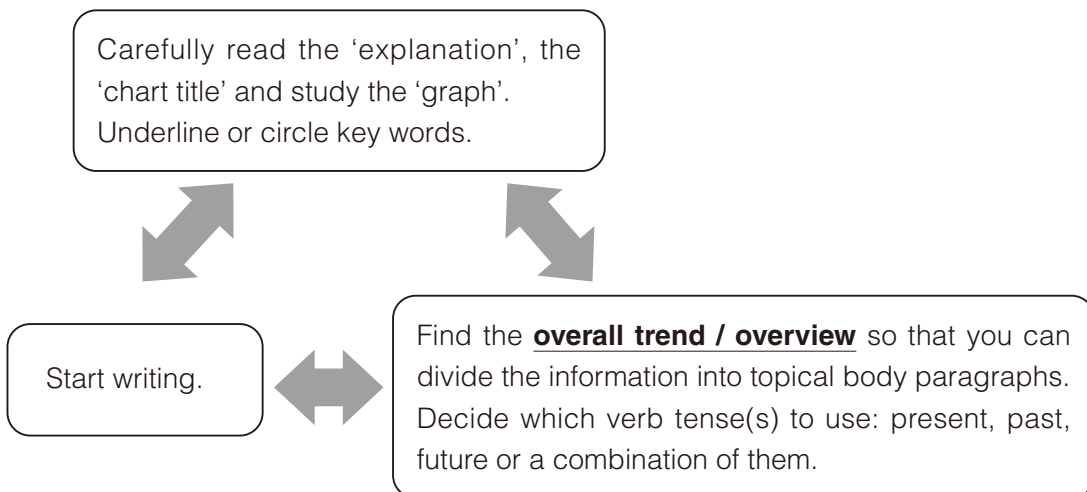


Exercise B Sample Writing Test <Task 1> 実践

実際の試験時は、上記のような問題を見ながら、Overview / Overall trend（全体の傾向）を探していく必要があります。この書きだす前の事前準備の作業は **Planning** と呼ばれます。自分の解答はこの Overall trend に沿って展開していかなければならないため、この作業は非常に重要ですが、時間としては最初の1-2分で終える必要があります。図にするとこの書きだす前までの作業は下記のように3つのステップになります。

Planning

This comprises three stages; it is sometimes necessary to return to a previous stage.



上記の図を参考に、**Exercise A**で登場した Bar graph の Overall trend をまずは3分で探してみてください。重要なのは、「全体の傾向」ですので、データを俯瞰する必要があります。つまり「アイスランドが高かった」など、1項目だけピックアップすると Overall trend とは呼べません。1か国にフォーカスを絞っている時点で「全体」の話ではなくなってしまっています。Overall trend を見つけた後のより具体的な書き方、ならびに他タイプの〈Task 1〉や〈Task 2〉は **Unit 2**以降で触れていきます。

SPEAKING

Exercise A Sample Speaking Test 〈Part 1~3〉

下記が **Speaking Test** のサンプルです。さっと全体に目を通してみてください。ひと通り目を通し終わったら、赤字の必須単語・フレーズの意味の確認をしましょう。

Part 1

What you do

Do you work or are you a student?
What do you enjoy about your job? /
What do you study?
Do you want to continue doing this job
in the future? / Do you think your
current course will be related to your
future job?

Telephones

What sort of phone do you have?
How long have you had it?
What made you select that model?
What are the advantages and
disadvantages of carrying a mobile
phone?

Part 2**Describe a friend.****You should say:**

how you came to know each other
how often you meet them
what you like to do together
and explain what you like about this friend.

Closing question: When do you think you'll see this person again?**or**

What did you do together last time you met?

Part 3**Friendship**

What makes a good friend?




What causes friends to break up?

What **roles** can friends play in **each other's** lives?**Friendship and communication technology****Would you say** that modern technology has had an impact on friendships?

Do you believe it's possible to be friends with a person you have only communicated with online?

Is it possible for people who **have nothing in common** to become close friends?**Exercise B** Sample Speaking Test **採点**

実践には **Unit 2** から入っていくので、今回はまず、実際の受験者の音声を聞いてスコアを予想してみましよう。**Introduction** で紹介した採点項目を理解しておくことが大切です。採点項目を見ながらも構いませんので、ざっくりとスコアを付けてみてください。

受験者 A  21 ● CD2-01受験者 B  22 ● CD2-02受験者 C  23 ● CD2-03